①	**谷口　宏一**　72 歳　（誕生日に東日本大震災発生）　　第四講座（電気材料）　吉田教授、河村先生
②	東京芝浦電気（株)、名古屋工場、小型機器課（小型モータ応用機器） 第 6 志望では、先ずありえないと思って名古屋工場と書いたのに、配属が決まり驚いた。
③	家電機器の企画、研究、開発、工場技術管理、研究所管理などを手がけて来た。名古屋工場、川崎本社、横浜事業所、東京本社へと転勤、延べ 16 年間　東京地区（小向、宿河原に住む）で過ごした。 社外活動では、電機工業会、家電製品協会（家電製品リサイクル法制定時の設計委員長）や電気事業連合会（高調波問題など）で活動した。一方、都立大学で講師を 5 年間続けた。
④	次男を小学校入学後すぐに心臓手術で亡くした。この時に受けた会社の人々、近隣の方々や社会から受けた恩は多大だったのでお返しも含めて、夫婦で心身障害者の親御さんと一緒に地元に施設作りに着手、市民の 1 円玉募金から始めた。土地 3 千坪を提供された和尚さんや素晴らしい先生方にも来て頂いて、「まみずの里」が平成 2 年に完成、今に至っている。
⑤	56 歳で㈱東芝から東芝 AVE 社に移り、60 歳定年と同時に家を建て替えて犬山に戻る。一年間勉強して犬山市のエコアップ課（環境課）にて自然環境保護の事務局を 7 年間勤めた。その間、冊子「犬山の巨樹古木５０選」を纏めたり、子供達に自然体験を指導した。東京商工会議所のエコピープル資格も取得した。 息子二人が成人し、長男には高校一年男子と中学 1 年の女子がいる。三男は、昨年結婚した。
⑥	私が施設の理事、家内が後援会長として協力して進めている。施設や後援会の福祉のお店もあるので、大工、電気工事と電気製品修理（ともに資格取得)、決算などをしている。仕事の合間に、施設と自分の畑、木工工作などに精を出し、日独協会にも入った。昨年、施設に移管したが、イベントの企画と推進、時には、施設の食堂の配膳指導などもして来た。その間、名古屋大学に通い生命工学の単位を取得した。
⑦	心身障害者の親御さんや、指導の先生方が、日頃の心身の疲労を癒せるような場所が作れないかと場所探しやお金の工面をどうするかなどを検討している。
⑧	お勧め・・昨年 11 月にソーラーシステムを導入、半年で 14 万円（3000kwh）を発電した。毎日の発電量や消費電力の表示、発電開始と終了時の挨拶、1000kwh 達成毎に画面に上がる花火など楽しんでいる。

①	**津田　眞臣**　（つだ　まさおみ） 年齢：73　　卒業時：電気第二講座「電気機器」、光野重威教授、徳田精助教授、畑四郎講師（何れも当時） 卒業論文のテーマは、「水銀整流器によって運転される直流電動機の電機子電流の波形率」
②	勤務先：丸紅飯田（株）　現丸紅（株）東京本社，機械第一部重機械課　〔機械類の輸入がメイン〕 約４年半後からは鉄道関係の輸出/海外鉄道工事に従事し定年時まで続く
③	勤務先：東京に本社がある（株〕トステムズ（鉄道建設関係のコンサルタントで定年までの仕事の延長みたいなもの。但し丸紅との資本関係は無） 転勤：大阪に２年、インドネシアに2.5 年、ナイジェリアに２年、 海外出張：合計約 170 回、海外滞在日数；延べ 13.5 年余り　（一番長いのはアルゼンチンの約３年）
④	これといった転機はなく平凡にお勤めしました
⑤	定年から現在まで；64 歳の時にリタイアー。やりたいと思っていた事は色々あったが、殆ど実現せずに今まで来ております
⑥	今の生活；家でごろごろしているか、病院通いが殆どで、たまに旅行に出かけることぐらいかなー 仕事：３年前までは翻訳の仕事を家でやっていたが、今は完全に無職
⑦	今後のこと：先ずは健康を回復して、それからゆっくり考える積もり．いろんな病気をしたが，今一番よわっているのは腰痛。
⑧	その他：〔工学部を卒業して総合商社に入ることを検討している後輩諸君につまらぬアドバイス〕 小生の場合一番苦労したのは語学、特に英語であったが、それは晩年何とか並の文科系出身者に追いつくことが出来た。でもその時間がかかり過ぎたのは残念。　自分のやりたいことが殆ど自由に出来たのは、商社の最大のメリットではあったが、どうしても技術問題、特に、鉄道関係は、昔から得意でもあったので、上役と衝突することが多く出世には結びつかなかった。　語学には自信があるが、自分を抑える事が出来ない人にはあまりお勧め出来る職場とは思えないというのが現在の率直な考えです。